



不

動産会社の社員時代に「空き家が増えているのに新築住宅がどんどん建っているのはなぜ？」とお客様との会話がきっかけになり、脱サラして2年後の2018年にNPO法人あんしん空き家管理ネットを立ち上げました。

まずは空き家の管理。草刈りや枝打ちなどを年間契約で見回ししています。その中で多くの持ち主の方から相談を受け、管理だけでは空き家問題の解決にはならないことを実感し、売買や利活用など最適な方法を考えているそうです。

現在取り組んでいるのは、西浦町にある築100年近くの古民家を民泊施設として再生するために大改修中とのこと。佐野にまた来たいと感じてもら

ネットワークを広げて 空き家の流通を共有化していきたい

えるようにたくさんさんのプランを計画しているそうです。
最初はノウハウも参考にする団体なども見当たらずに失敗も経験したそうですが、最近は所有者の方だけではなく購入者や利用者の方たちからも感謝されることもあるそうです。
取材の前日に連絡したにもかかわらず、当日たくさんさんの参考資料を用意してくださいました。それを読みながら「全国的にも空き家は増加していますが、栃木県の空き家率は減少しているんですよ。少しでも貢献できていたらうれしい」と意欲的に話されていました。

(市民記者 芝口明子)

キラリ話題の人

とも
横山 智さん

NPO法人あんしん空き家管理ネット
専務理事



ようこそ
市長室からこんにちは！

この広報さのが皆さまのお手元に届いている頃が、ちょうど桜の満開予想日となっており、春の訪れを感じている時ではないでしょうか。桜咲く季節、入学、入社など新たなスタートを迎えた皆さま、誠におめでとうございます。慣れない環境に戸惑うこともあるかもしれませんが、自分の道をしっかりと歩んでいってください。

令和7年度は本市の最上位計画となる第2次佐野市総合計画中期基本計画の最終年度となります。

第2次総合計画の将来像である「水と緑にあふれる北関東のどまん中 支え合い、人と地域が輝く交流拠点都市」の実現、さらには、第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進による地域活性化や人口減少社会の克服に向けた最終仕上げの年

であり、さらに、次期総合計画策定に向け、これまでの取り組みと成果を引き継ぎつつ、それをさらに発展させていくことが求められております。

また、物価高騰などに対する市民生活や地域経済の下支え、防災・減災対策に加え、頻発している自然災害などへの迅速かつ柔軟な対応、こどもたちの明るい未来のための教育と子育て環境の充実や若者が結婚・妊娠、出産、子育ての希望をかなえられることもまんなか社会の実現に向けた取り組み、交流人口の増加や経済交流の促進につながる海外展開を進めるとともに、多文化共生の地域づくりの土壌となる国際戦略の策定に向けた取り組みを進めていきたいと思います。



①



②

①シンガーソングライター加藤登紀子さん
②とちのみ会作品展

20周年を記念して 男女共同参画講演会「パレットフェスタ」

旧佐野・田沼・葛生が合併し、新佐野市となって20周年、同時に、男女共同参画ネットワークさのが結成されて20周年の記念事業「男女共同参画講演会パレットフェスタ」が、2月1日(土)、葛生あくとプラザで開催されました。

第1部は、男女共同参画に関する小学生の標語・作文コンクールの表彰式。受賞された皆さんの作品は、市ホームページから読むことができますので、ぜひアクセスしてみてください。

あくとプラザのギャラリーでは、とちのみ会作品展を開催。自由な発想の絵画・書・造形作品が展示され、また、葛生図書館創立100年記念展示やブックリサイクルと盛りだくさんで、多くの来場者が足を止めていました。

そして第2部では、20周年記念にふさわしいビッグゲストとして、シンガーソングライターの加藤登紀子さんをお招きし、トーク&ライブが開催されました。登紀子さんいわく「81歳は、さかさまにひっくり返せば18歳」。常識をひっくり返す発想で「さ・か・さの学校」をテーマに講演いただきました。ご自身の波乱に富んだ人生やポジティブな生き方、原爆体験を綴った「はだしのゲン」の朗読と、会場の参加者は、登紀子さんのトークと歌に魅了され、たくさんのパワーをもらったことでしょう。

今年は、昭和100年、終戦から80年です。登紀子さんは今年、歌手活動60周年の節目の年だそうです。偶然にも佐野市をはじめ区切りの良い記念の年が並びました。春から気持ちも新たに、次の時代へスタートですね。
(市民記者 永倉文子)



飛駒町に伝わる 鍋沢の獅子舞が開催されました

3月2日(日)、市北部の飛駒町に伝わる「鍋沢の獅子舞」が5年ぶりに開催されました。

「鍋沢の獅子舞」は市指定無形民俗文化財になっており、鍋沢地区に古くから伝わる(地元の方によると300年前から行われているとのこと)伝統芸能で、横笛の音に合わせて獅子頭姿の舞子3人とひょっとこが「サンバ」「ヒラザサラ」など十数種の演目を舞い、子どもの健やかな成長と無病息災を願う行事として地元の塩釜神社の例祭で奉納されてきました。

5年ぶりの開催となった今回、軽快なはやしお囃子の音色と勇壮な獅子舞がよみがえり、多くの人でにぎわいを見せていました。



さのまるの誕生日を祝いました 第9回さのまるの日イベント

2月23日(日)、葛生あくとプラザで第9回さのまるの日イベントが開催されました。

さのまるとお友だちキャラによる「ゆるゆる」なキャラクターステージに加え、佐野ブランド大使であるダイヤモンド☆ユカイさん、佐野ふるさと特使である堀優衣さんによるスペシャルステージで、盛り上がりを見せていました。

また、市内の高校生が手掛けたさのまるの新衣装お披露目もサプライズで行われました。屋外ステージでは秀郷太鼓の演奏やゆるキャラたちのグリーティング、おいしいものが盛りだくさんのご当地グルメエリアなども設けられ、楽しいイベントとなりました。